

2023年度事業計画

(2023年4月1日～2024年3月31日)

2023年3月28日

I . 2023年度事業計画の考え方

1. 2023年度の基本認識

2023年度はUNIVAS設立5年目に当たる年度である。

設立以来すすめてきた大学スポーツ振興に向けた諸施策は定着を見せつつ一定の成果を上げるとともに、協会としての組織運営も安定化が為されてきた。しかしながら、加盟会員数はコロナ禍の影響もうけて伸び悩み、設立時の中期目標からは未だ乖離をきたしている。このことは、UNIVASに関する十分な理解が不足していることや、大学スポーツに対する価値認識の浸透が不十分であること等が影響を及ぼしているものと認識している。

さらに、経済情勢等の外的環境は厳しさが継続するとの見通しがある一方、コロナ禍の終焉による自由な生活スタイルの復活によりスポーツ再活性への期待感もある。

したがって、2023年度は今まで施してきた諸施策の着実な推進と、新たな環境や局面へのチャレンジの両側面から事業計画を設計する必要があると認識する。

2. 2023年度事業計画の考え方

■大学スポーツの更なる振興に向けて、4項目を設定する。

1 UNIVASに対する「理解・共感」醸成活動の推進

2 加盟会員の拡大、UNIVAS利用者の増大に向けた活動の推進

3 大学スポーツ振興施策の充実・普及推進

4 新たな施策への取り組み

Ⅱ. 2023年度事業計画内容

UNIVASに対する「理解・共感」醸成活動の推進

1. UNIVAS広報活動の強化

- ・UNIVASの理念と活動を分かり易く伝えるメッセージを策定し、多面的に展開を行う。
- ①オフィシャルサイトのリニューアル(4-5月・連動して各SNSの表現手法とパターンも見直す)
- ②職員営業活動におけるビジネスツールの見直しと統一
- ③会員メディアでの広告展開(大学スポーツ新聞・加盟競技団体大会パンフレット等への継続出稿)
- ④UNIVASシンポジウムの開催(7月・2月予定)

2. キーパーソンである学生との密接な関係づくり

- ①学生に直接語る「出張セミナー・出張研修会・出張講義」の全国ローラー展開
- ②UNIVAS活動への学生の参画を推進(動画制作・実況放送・研究活動他)
- ③UNIVAS STUDENT LOUNGE(略称U.S.L.)26名に増員し、学生視点での広報活動を展開

3. 学・産・官及びスポーツ団体との連携強化

- ・「大学スポーツ=UNIVAS」の社会的認識の確立と支援獲得に向けて、各界との強い関係構築を推進する。
- ①大学:「スポーツによる人材育成」活動の浸透促進・スポーツ関連研究の共同推進・学会との連携
- ②国・官公庁:スポーツ系議員とのコミュニケーション・国主催会議体への積極的関与
- ③スポーツ団体:日本スポーツ協会加盟(予定)を契機にした連携・関連団体連動活動への参画
- ④民間企業:UNIVASシンポジウムを活用した情報発信

加盟会員の拡大 UNIVAS利用者の 増大に向けた 活動の推進

1. 大学会員:250会員

- ①未加盟大学へのサービス体験機会提供により、勧誘アプローチの切っ掛けを創出する
- ②会員代表理事のご協力も得て、既存会議体でのUNIVASアピール機会を創出する

2. 競技団体会員:40会員

- ①日本スポーツ協会への加盟を契機に、UNIVAS未加盟JSPO会員へのアプローチ
- ②法律相談やガバナンス支援窓口の露出強化により、学連運営サポートサービスを展開する、

3. UNIVASユーザー:23万人

- ・My UNIVAS登録学生3万人・UNIVAS Plusユーザー20万人

大学スポーツ 振興施策の 充実・普及推進

1. スポーツを通じた人材育成の推進

- ①入学前からの学習支援:学修意欲を喚起するオリジナル教材の提供・取り組み事例の共有促進
- ②デュアルキャリア形成の支援
:学修プログラムとセミナーのオンライン提供・オンデマンド型でセミナー、研修会を出張開催

2. 安全安心なスポーツ環境の整備

- ①UNIVAS SSC制度の普及促進:SSC認証発行団体の拡大に向けた継続的活動
- ②安全安心環境へのサポート施策:医療従事者等配置助成サービス・UNIVAS相談窓口の継続開設
ハラスメント撲滅活動の展開
- ③アンチドーピング教育の推進:スポーツ庁受託事業として新たに取り組む
- ④外傷傷害予防研究の推進:慶應義塾大学との共同研究(2年目)

3. 大学スポーツの認知拡大

- ①UNIVAS CUP開催:大学スポーツを象徴する大会としてプロモーションを強化する
- ②試合動画配信の見直し:自主配信の重点化と他社メディアの併用による大学スポーツ露出の拡大を設計。
大学主催試合や運動部活動の露出拡大を図る
- ③UNIVAS AWARDS:優秀人材・団体の表彰を通じてUNIVAS理念の浸透を目指す

4. 会員におけるガバナンス強化の支援

- ①研修会の開催:UNIVAS研修会・コンプライアンス研修会月例開催・安全安心セミナー隔月開催
- ②競技団体法律相談窓口の開設

5. 大学スポーツによる地域振興の促進

- ①大学スポーツによる振興モデルの創出と提示:スポーツ庁受託事業として展開(予定)
- ②運動部活動の地域移行における大学の取り組み体制の支援

新たな施策 への取り組み

■ 中期視点も踏まえて重点課題への取り組みを検討する。

1. 収益基盤の確立

- ① パートナー制度更新
- ② 競技団体との協業体制

2. 組織体制の整備

- ① 会員の拡大
- ② 組織の編成

3. UNIVAS存在価値の向上

- ① 学・産・官との関係づくり
- ② 国際化戦略